

平成28年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	東京大学	タイプ	A-②
事 業 名	日中韓教養教育アライアンスによる高度教養教育の充実と「協創型人材」の育成		

〔評価コメント〕

本事業計画は、東京大学、北京大学、ソウル大学校の3大学がアライアンスを設置して、高度な教養教育を基盤とする3大学共同の副専攻である「アジア協創サブメジャー」を形成することで、東アジア地域の歴史と現状を踏まえつつ、分野や地域の境界を越えて様々な知を理解し、多様な人々と協働しながら、グローバルな課題の解決に取り組むことのできる「協創型人材」を育成することを目的としており、豊富な交流実績を有する相手大学とともに、欧米との歴史・文化的背景の違いを踏まえて、アジアの教養教育（アジア協創サブメジャー）の構築を目指すという志の高い計画である。

また、英語を基本言語としながらも日本語、韓国語、中国語の講義の受講や、多国の学生との対話を通じて交流国の言語を修得させるという方針は高く評価できる。更に、3大学の教員が他大学の授業を見学・参加するという企画や、中国語、韓国語を話す教員を採用して派遣学生や受入学生のサポートを行うなど、周到に実施体制が整えられていると言える。

一方で、日本人学生の派遣プログラムに比べて外国人学生の受入プログラムの充実性が乏しいように見受けられるため、一層の検討が望まれる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の我が国と中韓両国との関係を見据え、質保証を伴った国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。